

自民党 京都市会議員団ニュース

発行人／橋村芳和 編集委員／田中たかのり、谷口みゆき、山本しゅうじ 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222)3718 FAX.075(257)3091

<http://jimin-kyoto.jp/> No.89

京都基本構想 の策定

京都とは何か
何を未来に引き継ぐのか



CONTENTS	1面 11月市会 京都基本構想の策定 中央省庁へ予算要望
	2面 代表質問 田中明秀 議員 みちはた弘之 議員
	3面 代表質問 井上よしひろ 議員 12月市会 補正予算
	4面 25年後を見据えた 京都基本構想について

京都市は、市政の基本方針である「**京都市基本構想(2001-2025)**」とその具体化を図る「**京都市基本計画**」を策定し、文化を基軸とした都市経営を進めてきました。

しかしながら、予測が難しく、変化が激しい現代社会において、**引き続き、時代に左右されない京都のまちの基軸、羅針盤となるもの**を策定し、効率的に行政運営を行っていく必要があることから、**今後25年間を展望し、京都市と市民のあり方を示す「京都基本構想(2026-2050)**」が新たに提案されました。

この構想は、京都独自の3つの価値・思想

- ①歴史と文化を介して人間性を恢復できるまち
- ②自然への畏敬と感謝の念を抱けるまち
- ③自他の生とともに肯定し尊重し合えるまち

の序文から始まり、第1章「策定の背景」、第2章「京都のかたち」、第3章「世界・日本・京都市のいまと未来への課題」、第4章「市民がめざすまち」、第5章「市民のこれから」、最後は「未来への問いかけ」という形で締めくくっています。

われわれは、京都市会に設置された『京都基本構想審査特別委員会』での議論も踏まえ、京都基本構想の策定に賛成しました。今後、構想を単に承認して終えるのではなく、理念を現場に根づかせ、市民の皆様お一人お一人に届くものとするため、これからも不断の検証と提案を重ねてまいります。

京都基本構想審査特別委員会(自由民主党京都市会議員団)のメンバー

寺田一博委員長 橋村芳和委員 津田大三委員 田中明秀委員
しまもと京司委員 加藤昌洋委員 谷口みゆき委員

主な議論

- 京都基本構想の理念を政策に落とし込み具体化する方針
- 京都基本構想案の主語である京都市民の概念
- 京都学藝衆構想の内容及び具体的な目的
- 今後25年間の京都市が目指す方向性を市民にしっかりと受け止めていただく必要性
- 多様な人々が集う京都のまちが大切にするものとして京都基本構想を共有する考え方



各議員の京都基本構想への想いは4面へ

京都市会最大会派の責任として

中央省庁へ予算要望

11月 19日～20日



政策実現へ前進!

各班の訪問先(省庁)と重点要望内容

1班



総務省

地方交付税の必要額の確保(地方財源の安定化)

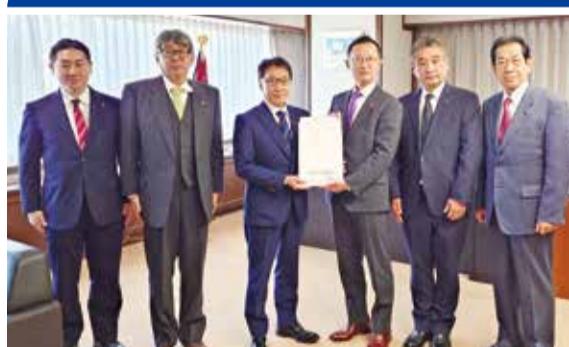
国土交通省

市民優先価格(市バス等)実現支援、国土強靭化・社会基盤整備

観光庁

民泊に関する法改正も含めた制度見直し

2班



法務省

国有地(京都刑務所、京都拘置所、京都運輸支局など)有効活用の検討

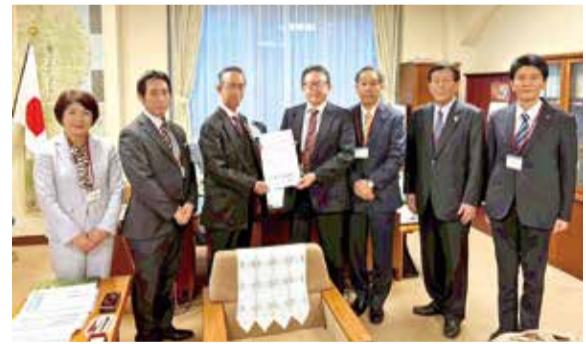
厚生労働省

福祉人材の待遇改善、物価高を踏まえた福祉施設等への支援

経済産業省・中小企業庁

中小企業の成長・事業継続に向けた支援

3班



内閣官房・内閣府

地方創生交付金の安定的な確保

こども家庭庁

保育士・幼稚園教諭等の更なる待遇改善

デジタル庁

自治体情報システム標準化に向けた財政措置等の課題解決

文部科学省

学校施設の空調設備更新・新設への財政支援充実

文化庁

文化芸術に対する一層の支援



AIを活用した交通誘導システム

Q 井上よしひろ議員 (質問)

生産年齢人口の減少に伴う全国的な扱い手不足の中、デジタル技術の建設分野におけるDX・A-Iの活用で活路を

A 松井孝治市長 (答弁)

建設業者のデジタル技術活用促進を行って、ICT活用工事の発注やデジタル技術を体験できる講習会の開催などに取り組んでいますが、これによる更なる生産性向上を進めています。そのためにも、誰もが安心して利用できるトイレ環境への改修を進めていくべきだと考えますが、いかがでしょうか。

A 岡田憲和副市長 (答弁)

ベビーチェアの設置やオストメイ

Q 井上よしひろ議員 (質問)

生産年齢人口の減少に伴う全国的な扱い手不足の中、デジタル技術の建設分野におけるDX・A-Iの活用で活路を

A 井上よしひろ議員 (答弁)

建設業者に向けた取組について

Q 井上よしひろ議員 (質問)

生産年齢人口の減少に伴う全国的な扱い手不足の中、デジタル技術の建設分野におけるDX・A-Iの活用で活路を

A 松井孝治市長 (答弁)

建設業者に向けた取組について

Q 井上よしひろ議員 (質問)

公園は市民の憩いの場
トイレ環境の整備推進

A 松井孝治市長 (答弁)

建設業者に向けた取組について

Q 井上よしひろ議員 (質問)

公園は市民の憩いの場
トイレ環境の整備推進

A 井上よしひろ議員 (答弁)

建設業者に向けた取組について

Q 井上よしひろ議員 (質問)

消防団員の負担軽減

A 松井孝治市長 (答弁)

消防団員の負担軽減

市民の皆さんに、1日でも早く届くように強く要望!!

12月 特別市会

年末まで議会開催

市民生活応援
3本の矢 地域ポイント
子育て応援
くらし応援

未活用の重点支援地方交付金について

可能な限り多くの市民に一刻でも早く支援を届ける必要性

今後どのような活用を考えているのか

お米券など、他都市のような支援策を採択しなかったのはなぜなのか。

京都市物価高対応子育て応援手当の給付

児童1人あたり国の定める20,000円の給付に加え、市独自に5,000円上乗せ

京都市くらし応援給付金(令和7年度住民税非課税世帯)

住民税非課税世帯に1世帯あたり5,000円給付

手続きにサポートが必要な方(デジタルデバイド)へのサポートの必要性

アプリ開発など、給付にかかる事務費の負担を抑え、交付金を有効活用する必要性

物価高対策として補正予算を可決

12月16日に成立した国の補正予算(物価高の影響を緩和するための国経済対策(重点支援地方交付金の拡充))を受け、京都市は、市民生活を支援するため、12月24日から26日に12月特別市会を開会。以下の補正予算を審議・可決しました。

市民生活応援デジタル地域ポイントの給付

市内店舗において食料品や日用品の購入などに利用できるデジタル地域ポイント(1人当たり5,000円相当を給付)

手続きにサポートが必要な方(デジタルデバイド)へのサポートの必要性

京都市物価高対応子育て応援手当の給付

児童1人あたり国の定める20,000円の給付に加え、市独自に5,000円上乗せ

子育て世帯(国が示す給付額に市独自上乗せ)や低所得者への支援の充実に焦点を充てた理由

京都市くらし応援給付金(令和7年度住民税非課税世帯)

住民税非課税世帯に1世帯あたり5,000円給付

予算額を上回る申請があった際には全ての申請者に支給できるよう取り組む必要性

Q 田中明秀議員 (質問)

令和8年度予算編成について

A 松井孝治市長 (答弁)

市民の皆様に「希望」を抱いていた大、そんな思いを込めた我が会派の令和8年度予算に対する要望書をしっかりと踏まえていただき、財政規律を堅持する中においても、必要な施策にはしっかりと財源を配分していただきたいと考えますが、令和8年度予算に向けた市長のお考えをお聞かせください。

Q 田中明秀議員 (質問)

京都の本物(ほんまもの)の価値を継承し、高める施策に重点的に配分してまいります。

A 松井孝治市長 (答弁)

本市会で提案しております京都基本構想案では、京都が大切にしてきた価値観やまち柄、今後四半世紀で目指す姿をお示ししており、京都の多様な学藝を取り巻く人のつながりを活かして夢中になれる遊びの場を創出し、「幅広い世代が学び合つ京都学習・衆構想の展開などを通じて、まちが醸成してきた唯一無二の価値

Q 田中明秀議員 (質問)

自動運転バスの実証実験は、道路環境等を総合的に考慮し、かねてから議員ご推薦の転換にも繋がると考えています。

A 松井孝治市長 (答弁)

自動運転バスの実証実験は、洛西SAIKOプロジェクトとも連携し、まず、洛西地域での実装化を進めてま

Q みちはた弘之議員 (質問)

私立幼稚園へや多子世帯への支援も検討

A 松井孝治市長 (答弁)

幼稚教育・保育の多様な選択肢を保障する観点から、特に私立幼稚園を希望する保護者の負担軽減策を検討することと、本市の子育て支援を一層前進させる明確なメッセージになります。

Q みちはた弘之議員 (質問)

障害児保育も充実を

A 松井孝治市長 (答弁)

保育士が希望とやりがいを感じる保育環境の実現につながることを考えます。質の高い保育と遇改善等)と障害児保育の拡充を総合的に推進することが、持つて長く働ける環境整備(処理改善等)と障害児保育の拡充を総合的に推進することが、

Q みちはた弘之議員 (質問)

保育園等の処遇改善

A 松井孝治市長 (答弁)

本市では、保育士等の人材確保と長く働き続けられる職場環境の実現を目指し、国基準を上回る配置や人件費補助など独自の処遇改善を進め、昨年度には更なる充実を図ってきたところです。一方、全般的な扱い手不足と、障害の

Q 田中明秀議員の代表質問

① 令和8年度予算編成について
② 今後の保健福祉行政の推進について
③ 民泊対策について
④ 市民が集い、つながる場としての公共空間の更なる活用について
⑤ マンション居住者の町内会・自治会への加入促進について
⑥ 自転車への青切符制度導入を契機とした、自転車の安全利用
⑦ 洛西地域における自動運転バスの導入について

動画はこちら

西京区 田中明秀議員

動画はこちら

Q みちはた弘之議員 (質問)

私立幼稚園へや多子世帯への支援も検討

A 松井孝治市長 (答弁)

私立幼稚園をはじめ多様な幼稚教育・保育施設があり、保護者が安心して預けられる選択肢を確保することと、立幼稚園では、建学の精神に基づく特色ある教育に加え、約7割の園が3歳未満児の受け入れや子育て支援に取り組んでおり、多子世帯の負担軽減に向けた要望も頂いております。少子化が進み、待機児童対策からの転換が求められる中、「質の高い特色ある教育」という本来の役割を十分に発

Q みちはた弘之議員 (質問)

障害児保育も充実を

A 松井孝治市長 (答弁)

保育士が希望とやりがいを感じる保育環境の実現につながることを考えます。質の高い保育と遇改善等)と障害児保育の拡充を総合的に推進することが、持つて長く働ける環境整備(処理改善等)と障害児保育の拡充を総合的に推進することが、

Q みちはた弘之議員 (質問)

少子化進む教育保育の質的向上へ支援を検討

A 松井孝治市長 (答弁)

これまでの多様な保育ニーズの多様化により現場負担は増していると認識しております。こうした状況と御提言を踏まえ、全ての子どもがともに育ち合う包摂的な保育の実現に向けて、障害児加配補助金を令和7年度当初に遡って充実させるとともに、保育士等の働きがい向上と人材確保を通じて、質の高い保育と京都の子育て環境の一層の充実に貢献します。この子育て環境の充実を通じて、市長の見解を伺います。

25年後を見据えた 京都基本構想について

自由民主党市会議員団に聞きました!

京都 基 本 構 想 に つ い て



自民党
新キャラクター

<https://www.jimin.jp/jimitan/>

25年後も京都のまちが伝統と歴史の文化に根ざし、平和で市民が安心安全の下、健康でより豊かに幸福を実感できるまちづくりを目指し、共にその未来を構築していくための重要な羅針盤。

山科区
富きくお

今後数多くの大きな変化を経験していく未来においても、京都が京都として在り続ける為、千二百年以上の歴史を経て体現された価値観や多様性を継承し、安穏と共栄を実現する責任ある指針です。

南区
椋田隆知

京都市の政策が、直近な時勢や眼前の課題にのみ囚われたものではなく、この街が守り育んできた価値観に立脚したものとなるよう、議会としても不断の努力を重ねていきます。

右京区
森田 守

先を見据えた政策は、極めて重要な実現を目指し、多くの市民の声や思いが込められており、今後も私たちの生活や暮らしを送るうでの重要な柱となるものです。

西京区
西村義直

京都の歴史、文化、自然、先人たちへの感謝や、京都が京都であるための理念が強く込められている。この理念を具現化し、次世代に引き継いでいくため、議論を深めていく覚悟であります。

北区
山本恵一

人間は自然に生かされて、自然を生きている。これは京都基本構想の序文の一節です。この構想を設計図として悠久の京都の自然、文化、人の営みを守り、未来へ伝えなければなりません。

左京区
さくらい泰広

今後25年、京都市が目指す理想の姿を描いた京都基本構想。それを、京都が世界中の人々の意識に浸透し続ける都市であることを願う。



下京区
下村あきら

世界文化自由都市宣言に「都市は、理想を必要とする」との言葉がある。われわれ市民一人一人が京都市の理想像を思い描く基盤となるものとして、しっかりと周知をしなければならない。



右京区
田中たかのり

平安京から千二百年を経た現在においても、京都は日本人の心の後も世界の中で輝く京都です。ある年伝統の真髄を保全・継承してあります。京都市の中でも、輝く京都であります。京都市の理



西京区
田中明秀

人口減少や気候変動を踏まえて、京都市の皆さまと共有し、その市着を一層尽力してまいります。今後とも京都市政の理念を実現に向けて、豊かな市



伏見区
みちはた弘之

「構想」です。25年間の京都市政の基礎となる理念と、それに込められた「想い」を市民の皆さまと共有してお伝えさせていただきます。



上京区
寺田一博

私たちが失いつつある価値観が京都市基本構想には記されている。京都創りに尽力したい。本構想が随所に感じられます。京都創りに尽力したい。



東山区
平山たかお

偉大な先人たちから受け継いできた素晴らしい京都を次の世代に渡せるように、今を生きる私たち京都市民一人ひとりが誇りとなり得る基本理念としたい。



山科区
山本しゅうじ

徹底審議してきた代表質問や言が、この長期ビジョン・構想に結実。すべての人が自らの役割を主体的に果たしていくことが生きがいとまちの活力、新たな価値と文化の創造に繋がります。



南区
しまもと京司

京都の歴史と文化を大事にしつつ、観光との調和を図り、安心して暮らせるより良い京都を地域と連携しながら築いていきます。その実現に向かって取り組んでいきます。



右京区
井上よしひろ

京都基本構想の特別委員会の員として質疑。京都の羅針盤となる構想です。少し難解な表現もありますが、噛めば噛むほど味があります。「するめ」のようない内



伏見区
橋村芳和

京都が京都であり続けるための「まち柄」が継承できています。25年後であってほしいと願っています。



北区
谷口みゆき

25年後を見据えた理念といふべきで、多くの方に構想を理解していただき、ともにまちづくりを行ってまいります。議会も



中京区
加藤昌洋

不を行なうことが必要です。議会も



山科区
富きくお



南区
椋田隆知



右京区
森田 守



西京区
西村義直



北区
山本恵一



中京区
津田大三

京都の在り方を考える羅針盤に。